

町長選挙を通して住民要求の実現を願います

日本共産党田尻町支部

この5年間で田尻町行政に提出された主な住民署名

幼稚園3才児の受け入れ再開を求める署名(07年)	628名
もと田尻中学校総合運動場に防球ネット設置などを求める署名(10年)	936名
中学校に軟式野球部の創設を求める内容の署名(10年)	1309名 (子ども含む)
第5期介護保険料の引き下げ国保料の抑制(11年)	248名



福祉・教育の充実

(介護支援策の強化・教育施設の整備等)

幼稚園3歳児の復活

(待機児童をなくし、幼児教育の強化等)

自然エネルギーの推進

(太陽光発電設置に対する補助等)

青少年のスポーツ振興

(中学校の部活動に野球部復活等)

適材適所な職員人事

(住民サービスの向上をめざす等)

町有空地の有効活用

(消防センター裏奥の空き地利用等)

防犯・防災対策の強化

(緊急時の対応を万全に周知する等)

町長選挙は、22日に告示され27日に知事選挙と同時に投票が行われます。町長選挙には2人が立候補しています。下記は2人の選挙公報から、公約部分のみ抜粋したものです。両氏の公約にはともに「保育所の待機児解消、幼稚園3才児保育復活」(下線部分)が公約されています。

共産党議員団は、4年前と今春の町会選挙で「保育施設の受け入れ拡充・幼稚園3歳児保育の復活」をの公約をいっかんしてかかげ、「新たな費用をかけてまで拡充しない」と主張する町行政と対決してき要求の実現を願います。

この他にも左記に記載した住民要望署名が提出されています。町長選挙を通して住民要求の実現を願います。

2人の立候補者の選挙公報から公約部分のみ抜粋

① 女性の社会進出しやすい環境を作ります。

女性がその能力や個性を十分に発揮できる環境を作ります。働きながら安心して子育てのできる体制づくりをしっかりとします。

② 広域避難所の再整備を行います。

大規模な地震や災害発生時の危機管理の体制を充実させ、安心して避難できる場所の確保をいたします。

③ 0歳から15歳までの一貫教育を図ります。

保育所の待機児童を0にし、幼稚園の3歳児の受け入れのできる環境を作ります。小中一貫教育を推進し、基礎学習を徹底し、確かな学力の向上を目指します。

「小川ゆうじの読書堂より」

小川吉開 検索

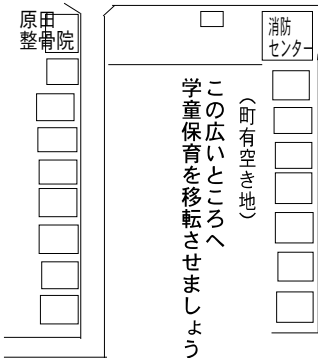
田尻町支部活動募金
1口200円をお願い

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

12月の弁護士相談は、
9日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要です

(部内資料)

JA大阪泉州



学童保育施設を下図のように移転させ、となりの幼・保施設を拡張させましょう。

幼・保を一体化建設、平成18年度から受け入れ定数を減らす

	保育所	幼稚園	合計
一体化する前	150人	160人	310人
	↓-50	↓-20	↓-70
現在の定数	100人	140人	240人

来年度 保育所入所希望者件数
161件 (1件で2人の場合もある)

町長選挙・知事選挙の投票日は

11月27日(日)

午前7時～午後8時まで

投票順は 1、町長 2、知事

期日前投票・不在者投票

26日(土)までの午前8時30分から午後8時までの間、田尻町役場で
また、都道府県選管が指定する病院や老人ホーム等に入院・入所の方は不在者投票ができます。

代理投票

係員が代わって投票を記載する代理投票の制度があります。係員にお聞きください。

開票は、27日午後9時から公民館で

開票順は 1、知事 2、町長